

(29) ふ き

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 白絹病 <i>Sclerotium rolfsii</i>	1. 発病株を抜き取る。 2. 株掘取り後に澆水する。 3. 連作を避け、水田との輪作を行う。 4. 太陽熱消毒をする。 5. 株元の過湿を抑えるため、過度な密植を避ける。	植 付 前	14	リゾレックス粉剤
		植 付 時	U18	バリダシン液剤 5
		定 植 時	7	バシタック水和剤 7 5
		発 病 初 期	14 U18	リゾレックス水和剤 バリダシン液剤 5
2 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 排水をよくする。 2. 発病株は除去し、処分する。	発 病 初 期	M5 2・10	ダコニール 1 0 0 0 (混)スミブレンド水和剤
3 うどんこ病 <i>Podosphaera xanthii</i>	1. 窒素過多は発病を助長する。	発 病 初 期	3 NC・M1	トリフミン水和剤 (混)ジーファイン水和剤
4 半身萎凋病 <i>Verticillium dahliae</i>	1. 連作を避け、水稲との輪作を行う。 2. 太陽熱消毒をする。 3. 罹病茎葉は圃場周辺に放置しない。 4. 窒素過多は発病を助長する。 (薬剤使用の特記事項) 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	- - -	トラペックサイド油剤 ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
5 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット(4mm目合以下)で被覆する。	発 生 初 期	11A 11A 11A 11A 11A 13 15 28	バシレックス水和剤 ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 フローバックDF サブリーナフロアブル コテツフロアブル アタブロン乳剤 プレバゾンフロアブル 5
6 フキノメイガ	1. 取り残した株、枯死した株や茎葉は早期に処分する。 2. 折れ曲がった葉茎や葉がしおれた茎葉は、虫糞の出ている食入孔の少し下部から切り取って処分する。 (薬剤使用の特記事項) 1. パダンSG水溶剤はアザミウマ類、アブラムシ類にも登録がある。 2. トレボン乳剤はヨトウムシにも登録がある。	5 ~ 10 月	3A 14	トレボン乳剤 パダンSG水溶剤
7 タバココナジラミ	1. 施設栽培の場合、飛び込み軽減のため防虫ネット(1mm目合以下)で被覆する。	発 生 初 期	3A 4A 4A	トレボン乳剤 アドマイヤーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤
8 アブラムシ類	1. 周辺雑草を防除する。 2. 施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット(1mm目合以下)で被覆する。 3. 施設周辺にシルバーテープをはる。 4. シルバーマルチをする。	定植後～生育期 (草丈20cm頃まで)	4A 4A	アルバリン粒剤 スタークル粒剤
		発 生 初 期	4A	アドマイヤーフロアブル
9 ハダニ類	1. 圃場及び周辺の雑草処理を徹底する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	13	コテツフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する